商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。
修理･お取扱い･お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

新商品などの商品選び、本機に関する取扱方法などのご相談や、販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝 DVD インフォメーションセンター』 ［受付時間］ **365日／9:00～20:00**

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル **0570-00-3755** （通話料：有料）
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

［IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は］ **03-6830-1855** （通話料：有料）

［FAXからのご利用は］ **03-3258-0470** （有料）

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝ビジュアルプロダクツ社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

★長年ご使用のDVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビの点検を!

このような症状はありませんか	● 電源を入れても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった ● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● ACアダプターが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 **東芝**
ビジュアルプロダクツ社
〒105－8001 東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ⓃPX1D0000281A

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝DVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビ

形名 SD-P120DT

取扱説明書

VIDEO CD

Digital Out

Li-ion

「JIS C 0950に基づくマーク」

- このたびは東芝DVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのDVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書の見かた・使いかた

このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

全体図 くわしくは、 内ページをご覧ください。

① **入力切換ボタン** 36
モードを切り換えます。

② **音量ボタン** 43 51
音量を調節します。

③ **チャンネルボタン** 43
テレビのチャンネルを切り換えます。

④ **■停止ボタン** 50
再生を止めます。

⑤ **⏮／⏭スキップボタン** 54
タイトル、チャプター、トラックへスキップします。

⑥ **▶/❚❚再生／一時停止ボタン** 50
再生の開始および一時停止をします。

⑦ **クイックボタン** 37
クイックメニューを表示します。

⑧ **方向ボタン** 41 51
項目や入力位置を選びます。

⑨ **決定ボタン** 41 51
選んだ内容を決定します。

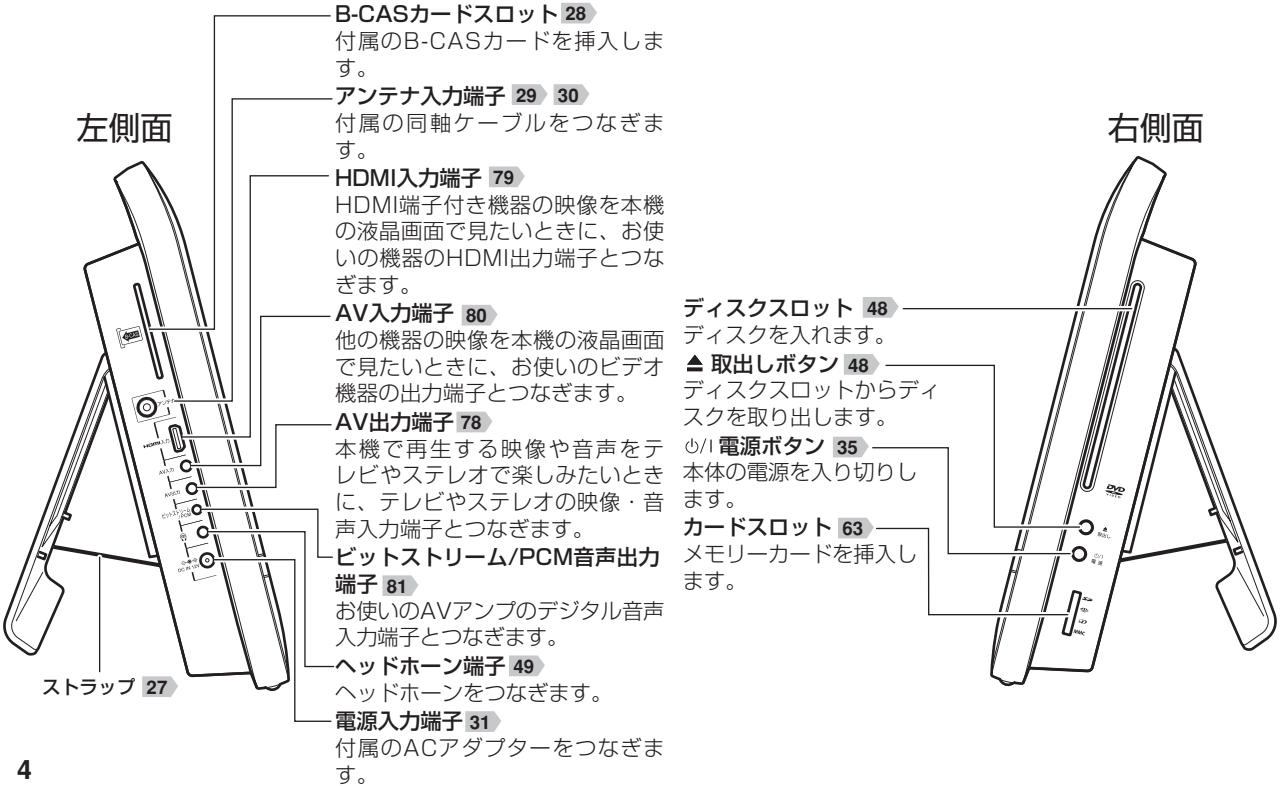
⑩ **充電表示灯** 33
バッテリーの充電状態を表示します。

⑪ **スタンバイ表示灯** 35
電源の状態を表示します。

⑫ **リモコン受光部** 26
リモコンはここへ向けて操作します。

リモコン くわしくは、 内ページをご覧ください。

1）操作切換スイッチ
スイッチを合わせる位置によって、操作できる機能が変わります。
テレビ: テレビの操作
オフ: リモコンでの操作ができません。
DVD: DVDプレーヤーの操作

2）メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」(51 ページ)と同様の手順で行ないます。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

商品の保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、DVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。 B- CASカードは、保証の対象から除きます。

修理を依頼されるときは〜持ち込み修理

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…？と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品　名	DVDプレーヤー内蔵地上デジタル液晶テレビ		
形　名	SD-P120DT	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。 ☎（　　）　—		

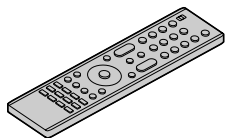
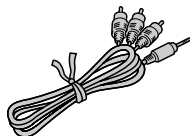
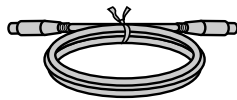
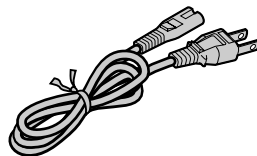
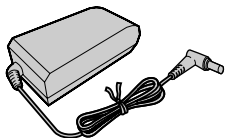
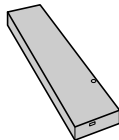
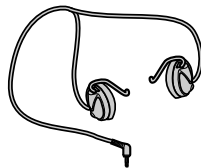
保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

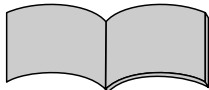
修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
単四形乾電池 ×2 個

AV入力出力端子専用
映像・音声接続コード×1本

同軸ケーブル（75Ω）×1本

電源コード*×1本

専用 AC アダプター(EADP-60EB A)*
×1個

バッテリーパック*×1個
(リチウムイオンバッテリーパック)

ヘッドホーン×1個

B-CASカード×1枚

B-CASカードはデジタル放送受信契約のための受信者IDカードです。B-CASカードは付属の説明紙についています。

取扱説明書（本書）×1冊

* ACアダプター、電源コード、バッテリーパックは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

準備

テレビを見る

再生

機能設定

接続

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠警告

■ 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

⚠警告

■ 修理・改造・分解はしないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

■ 水にぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

■ ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

■ 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと

交通事故の原因となります。

⚠注意

■ ディスクスロットに12cmディスク以外のものを入れないこと

火災・故障の原因となります。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴覚機能に悪い影響を与えることがあります。

■ ディスクを出し入れしているときに、ディスクスロットに触れないこと

けがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

設置するとき

警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かないこと

●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しないこと

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

- ●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- ●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- ●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- ●壁に押しつけないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずすこと

ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターと電源コードについて

警告

■ 電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

■ 電源コードは

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

■ 時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

火災、故障の原因となることがあります。

注意

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

■ ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターと電源コードは国内専用です。

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ **指定されたバッテリーパックを使用すること**

指示

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ **バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと**

禁止

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと**

禁止

破裂・火災の原因となります。

■ **バッテリーパックの電極(＋端子と－端子)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと**

禁止

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。

バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ **不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること**

指示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ **バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと**

指示

破裂、発火の原因となります。

⚠注意

■ **バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること**

指示

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。

■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。

■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。

■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。

■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。

■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。

■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

- **一般の廃棄物といっしょにしないでください。**ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。(リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。)

ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	内容
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	12cm	・映像（動画）+音声
DVD-RWディスク	DVD RW	12cm	・映像（動画）+音声（Videoモード／VRモード*CPRM対応） *ファイナライズ処理がされたもの ・音声（MP3/WMAファイル）　・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）
DVD-Rディスク	DVD R R47	12cm	・映像（動画）＋音声（Videoモード／VRモード*CPRM対応） *ファイナライズ処理がされたもの ・音声（MP3/WMAファイル）　・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	12cm	・映像（動画）+音声
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	12cm	・音声
CD-ROM	COMPACT disc	12cm	・音声（MP3/WMAファイル）　・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）
CD-R/RWディスク	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable	12cm	・音声（MP3/WMAファイル）　・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル） * VIDEO CD（ビデオＣＤ）フォーマットのディスクも再生できます。ただし、ディスクによっては再生できないものもあります。

お知らせ

- 前ページの表以外のディスクは再生できません。
- 前ページの表のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態など、ディスクによっては再生できない場合があります。
- 前ページの表のマークが表示されていても、DVD-RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機内蔵のプレーヤーは、NTSCテレビ方式に適合しています。他のTV方式（PAL、SECAM）表示のディスクには使用できません。

はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Controlの略です。）ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

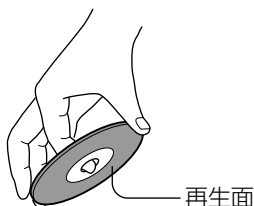
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD(バージョン2.0)

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。
● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

再生できるメモリーカード

本機で再生できるメモリーカードは以下のとおりです。

	マーク（ロゴ）	記録内容
SD メモリーカード	SD	映像（静止画/JPEG ファイル 動画/DivX ファイル）、音楽（WMA、MP3）
マルチメディアカード	MMC	
メモリースティック	MEMORY STICK	
xD-ピクチャーカード	xD-Picture Card™	

- SDロゴは商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの商標であり、MMCA（MultiMediaCardAssociation）にライセンスされています。
- 「メモリースティック」および MEMORY STICK は、ソニー株式会社商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™ は商標です。
- 本製品ではDivX® ファイルを再生することができますが、各メモリーカードに書き込んだDivX DRMを再生することはできません。

メモリーカードについて

メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。

対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。

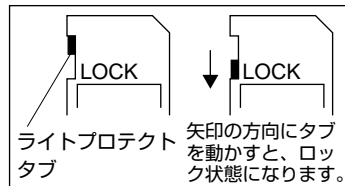
■記録画像について

- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■取扱い上のご注意

- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
- メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

■SDメモリーカードの誤消去防止について

- たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■メモリースティックについて

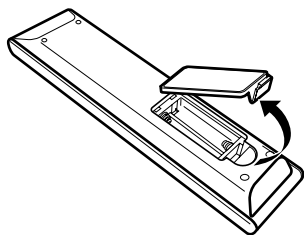
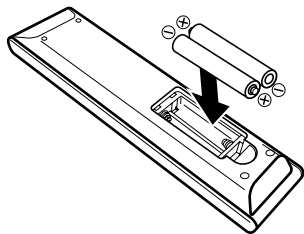
本機では、著作権保護技術「MagicGate」や、高速データ転送に対応したメモリースティックは使用できません。

準備

ご使用になる前の準備です。

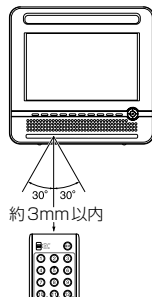
- リモコンの準備
- 設置のしかた
- B-CAS(ビーキャス)カードを入れる
- アンテナの接続
- ACアダプターの接続
- バッテリーパックを使う
- 電源の入れかた／切りかた
- モードを切り換える
- クイックメニューの使いかた

リモコンの準備

1 ふたをはずす

2 乾電池を入れる

- 単四形乾電池を2個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめてください。

3 ふたを閉める

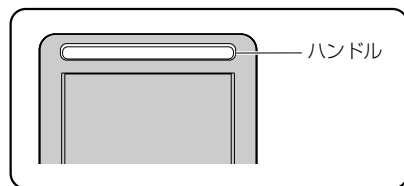
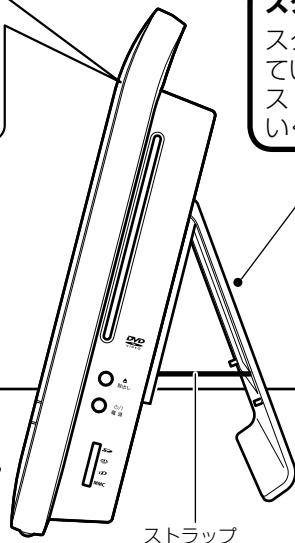
リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて、本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約3m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内

リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

設置のしかた

11、12、16 ページをお読みになり、設置に適さない場所をさけて設置してください。

⚠注意

- スタンドは必ず開いてお使いください。
  開かずに使うと、本機が転倒・落下するなどして、けがや故障の原因となります。
- **スタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしないでください。**
- 本機を持ち運ぶときは、ハンドルを持ってください。

お知らせ

- 設置や移動のときは、液晶画面を傷つけないようご注意ください。
- ハンドルをフックなどにかけて本機をぶらさげないでください。

B-CAS(ビーキャス)カードを入れる

本機に同梱されているB-CASカードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。

B-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。

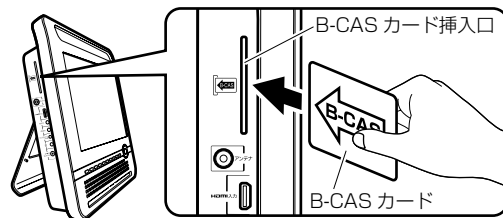
B-CASカードの登録のしかたや取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

お知らせ

- 同梱のB-CAS(ビーキャス)カードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をするときに加入申込書に必ず貼ってください。
- B-CASカードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更したい場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

■ B-CAS(ビーキャス)カードの入れかた

B-CASカードの絵柄面を本体の背面側に向け、奥まで差し込む

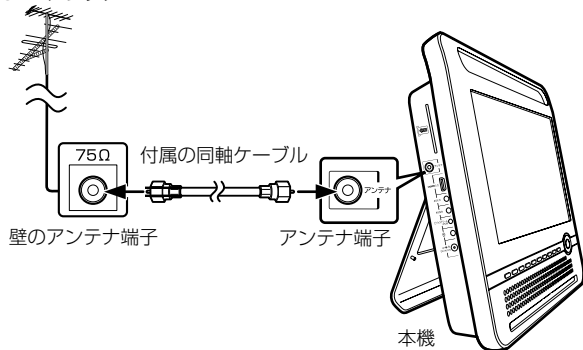
取り出すときはB-CASカードをそのまま引き抜きます。

アンテナの接続

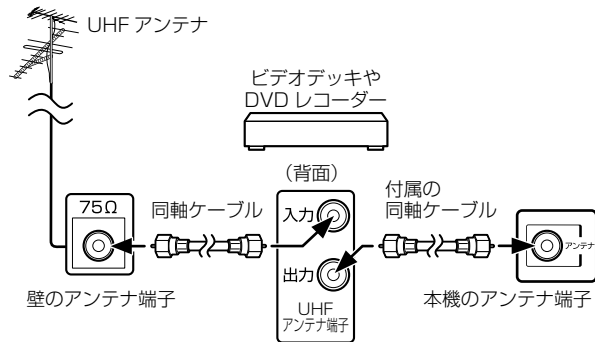
本機は地上デジタルチューナーを内蔵しています。
地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送受信用アンテナ(UHFアンテナ)を本機に接続してください。(地上アナログ放送、ワンセグ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。)

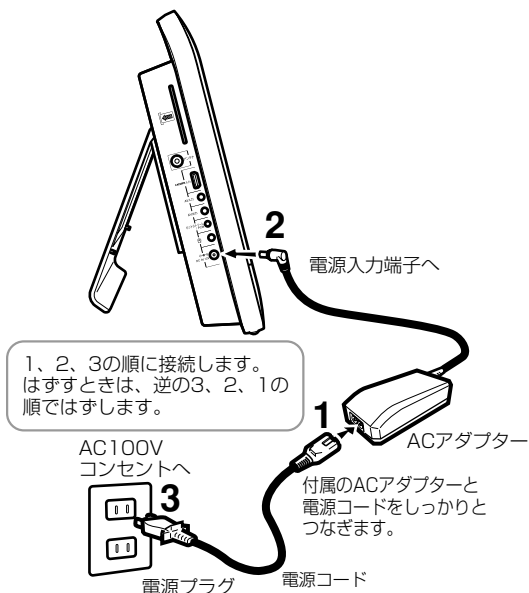
⚠注意

- **アンテナを接続するときは、必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。**
- **同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。**

お知らせ
- UHFアンテナがすでに設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
- UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため痛みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものを選び、妨害波の影響などをふせぐため、空き端子には終端抵抗器(75Ω)を接続してください。

■地上デジタル放送用アンテナ（UHFアンテナ）を接続する

■ビデオデッキやDVDレコーダーを経由したアンテナの接続

映像・音声の接続については、80、81 ページをご覧ください。

ACアダプターの接続

室内のコンセントへは、付属のACアダプターと電源コードを、以下のようにつないでお使いください。

⚠警告

- **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターと電源コードを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行なってください。

ご注意

- 付属のACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

バッテリーパックを使う

付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

⚠ 危険

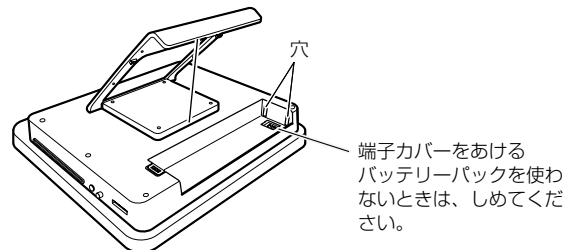
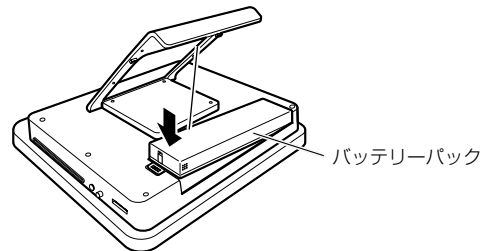
- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 本機を裏返し、スタンドをあげる

4 本機底面の端子カバーをあける

5 バッテリーパックのツメを本体の2ヶ所の穴に差し込み、矢印の方向にカチッと音がするまではめ込む

お願い

- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜き、本機からバッテリーパックをはずしてください。

お知らせ

- ACアダプターとバッテリーパックが付いた状態で、本機をご使用いただくことはできます。

■ バッテリーパックの充電

バッテリーパックは充電してお使いください。（電池残量が少なくなると、バッテリー表示［ ］が画面に表示されます。）特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。充電は、本機の電源が切れている状態で行ないます。（電源を入れた状態では充電されません。）

1 本機にバッテリーパックを取り付ける

2 本機にACアダプターと電源コードを接続する
（アンテナ線などのその他のコード類ははずした状態にしてください。）

充電が始まり、充電表示がオレンジ色に点灯します。充電が終了すると、充電表示が消灯します。

- バッテリーパックが満充電に近い状態では充電は始まらず、充電表示は点灯しません。

バッテリーパックの充電時間の目安	約4.5時間

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の連続再生時間の目安	最大約3時間（テレビ視聴時は最大約2時間）

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
（25℃、ヘッドホーン使用、DVD再生、バックライトの明るさ設定［標準］、新品のバッテリーパック使用時）

- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。

お知らせ

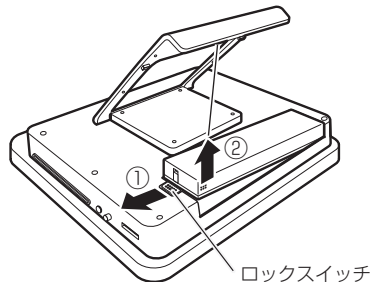
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行なってください。
- 充電を途中で中断すると、中断したときの電圧によっては充電を再開しない場合がありますので、充電表示がオレンジ色に点灯している間（充電中）は、ACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす

3 本機を裏返しにしてスタンドをあげる

4 バッテリーパックのロックスイッチを、①の矢印の方向にスライドさせて、バッテリーパックを②の矢印の方向に取りはずす

5 端子カバーをしめる

お願い

- 端子カバーは、針金などの金属の接触によるショートから電極を保護するためにも、必ずしめてください。
- 本機の動作中（スタンバイ表示灯が緑／赤／オレンジのいずれかに点灯中）は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP120J）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

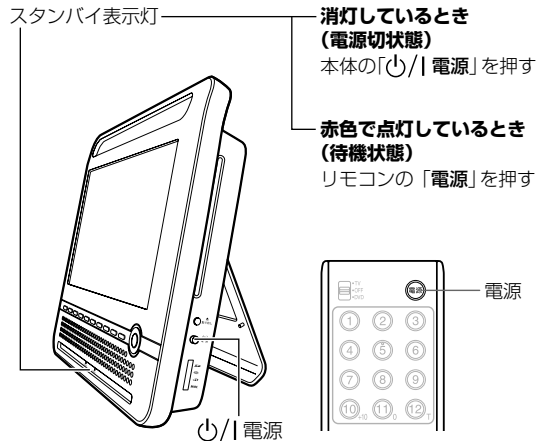
不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

一般社団法人JBRC　ホームページ

http://www.jbrc.com

リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

電源の入れかた／切りかた

電源を入れる

電源がはいると、スタンバイ表示灯が緑色に変わります。

お知らせ

- 本機の電源を本体の「⏻/| 電源」で入れたときは、モードが［テレビ］になります。リモコンの「電源」で入れたときは、電源を切ったときのモードになります。モードの切り換えについては 36 ページをご覧ください。

■ 電源を切る

リモコンの「**電源**」を押して、待機状態にする

電源切状態にするには、本体の「⏻/| **電源**」を押す

■ スタンバイ表示と本機の状態

スタンバイ表示灯	状態
緑	電源入
赤	待機状態 （リモコンからの電源投入ができる状態です）
消灯	電源切
オレンジ	番組表データ取得*中／ ソフトウェアダウンロード中

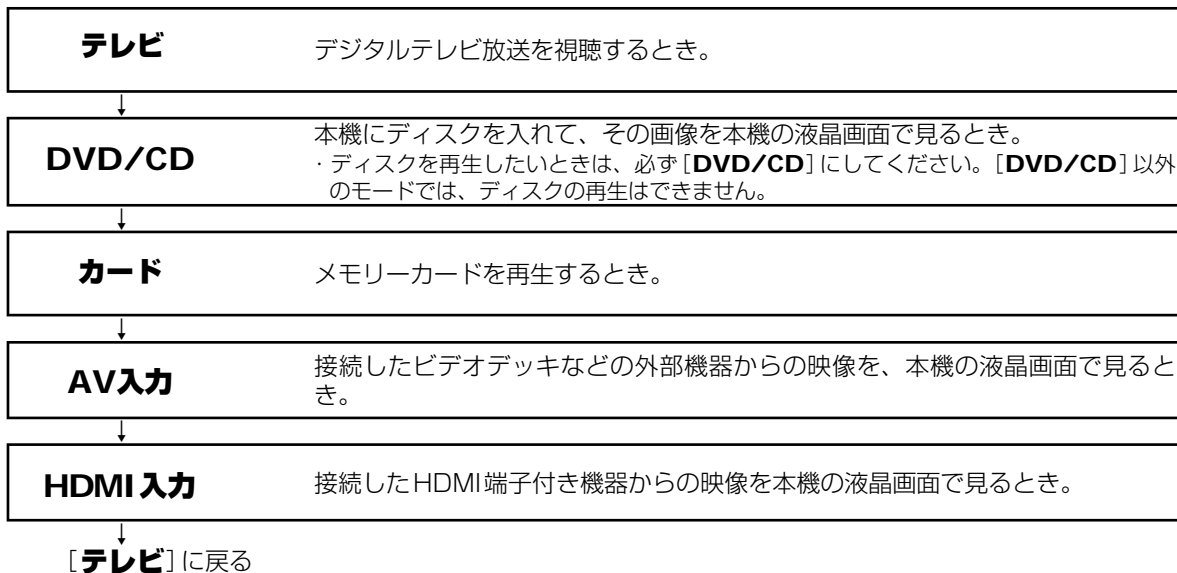
＊リモコンで電源を切って待機状態にすると自動的に行ないます。テレビ視聴中でも取得しますが、一部のデータに限られます。また、電源切状態では行ないません。

準備

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることで、テレビやディスク、つないだビデオ機器などのさまざまな映像が楽しめます。
必要に応じて、以下のように切り換えてお使いください。

「入力切換」をくり返し押して、モードを選ぶ

押すたびに、本機の液晶画面でモードの表示が以下のように切り換わります。

■ 便利なモード切換え

「入力切換」を押す代わりに、以下の操作でもモードが換えられます。

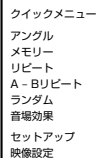
「**再生/一時停止**」を押すと…

自動的に[**DVD/CD**]に切り換わり、本機にディスクがはいっていれば再生が始まります。

[**テレビ**]以外のモードで、操作切換スイッチを「テレビ」にして、**番号ボタン**を押すと…

自動的に[**テレビ**]に切り換わります。

クイックメニューの使いかた

本機では、モードや操作状況によって使える機能を、一覧表示させて([クイックメニュー])その中から選べます。
どのモードでも共通の操作で使えます。

1 「クイック」を押す

機能や設定名が一覧表示されます。

内容はモードや操作状況で異なります。

例:DVDモードのとき

クイックメニュー
アングル
メモリー
リピート
A-Bリピート
ランダム
音場効果
セットアップ
映像設定

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」を押す

3 項目の詳細を設定する

テレビを見る

本機で地上デジタル放送の視聴ができます。

● 本機で受信できるテレビ放送

● チャンネル設定のしかた

● 放送を見る

本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送のみを受信することができます。(地上アナログ放送、ワンセグ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。)

■ 地上デジタル放送の特長

地上波のUHF放送(13ch〜62ch)の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。

■ アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地でも2006年末までに放送が開始されています。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上デジタル放送への移行にともない、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定しています。

お知らせ

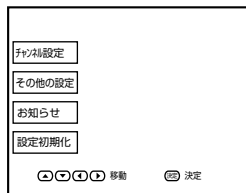
- 地上デジタル放送を受信するには、本機の他に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。また、本機でペイ・パー・ビュー(PPV)番組を購入することはできません。
- 本機では地上デジタル放送を受信しますが、表示画面は標準画質(SD)です。

チャンネル設定のしかた

■ 準備

- リモコンの操作切換スイッチを「テレビ」にします。
- 「入力切換」を繰り返し押して、[テレビ] を選びます。

1 「**メニュー**」を押す、または [クイックメニュー]（37）から [メニュー] を選ぶ

設定メニューが表示されます。

*「戻る」を押すと、前の画面に戻ります

2 方向ボタン（▲/▼）で [チャンネル設定] を選び、「**決定**」を押す

3 方向ボタン(▲/▼) で[チャンネルスキャン] を選び、「**決定**」を押す

4 [受信する放送] を選んだまま、「**決定**」を押す

5 方向ボタン（▲/▼）で [一般放送] または [CATV] を選び、「**決定**」を押す

6 [都道府県域] を選んだまま、「**決定**」を押す

7 方向ボタン（▲/▼）でお住まいの地域を選び、「**決定**」を押す

8 方向ボタン（▲/▼）で [初期スキャン] を選び、「**決定**」を押す

初期スキャンがはじまります。
初期スキャンが終わるまでには数分かかります。

引越しをした場合や、放送局が新たに開局したり、中継局が新設されてチャンネルが増えたなどで放送チャンネルに変更があった場合は、再スキャンを行なってください。再スキャンによって、チャンネルを自動的に更新することができます。

スキャンが正常に終了すると、[リモコンボタン割り当て] の設定画面が表示されます。
続けて他の設定を行なわない場合は、「**戻る**」を繰り返し押してメニューを終了します。

■ チャンネル設定のその他の項目について

[リモコンボタン割り当て]

リモコンの番号ボタンに割り当てる放送局を設定します。

1 **方向ボタン**(▲/▼)で変更したいボタンの番号を選び、「**決定**」を押す
2 **方向ボタン**(▲/▼)で割り当てる放送局を選び、「**決定**」を押す

[受信レベル]

アンテナの受信レベル値の確認ができます。
受信レベルの数値が低くて受信ができないときは、アンテナの方向を調整してください。
受信レベルの目安は60以上です。

■ その他の設定

[機器情報]

B-CAS(ビーキャス)カードのカード識別番号、カードID番号、グループID番号、ソフトウェアのバージョンを確認できます。(登録番号を確認するための項目で、設定の変更はできません。)

[字幕スーパー]

デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。
字幕スーパーの表示/非表示を選ぶことができます。
複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を第1言語、第2言語から選択することができます。(設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしたがって表示されます。)

■ お知らせ

受信機のソフトウエアのアップデートなどに関するメッセージを表示します。お知らせが1件もない場合は、情報がないことを示すメッセージが表示されます。

■ 設定初期化

すべての設定をお買い上げ時の状態にもどします。
「はい」を選んで「決定」を押すと、確認のメッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、設定がすべて初期化されます。

放送を見る

■ 準備

- リモコンの操作切換スイッチを「テレビ」にします。
- 「入力切換」を繰り返し押して、[テレビ] を選びます。

■ チャンネルの切り換え

「**チャンネル（＋/ー）**」または**番号ボタン**で選局する

■ 音量の調節

「**音量（へ/∨）**」で調節する

消音するには、「**消音**」を押します。もう一度「**消音**」を押すか、「**音量（へ）**」を押すと、消音が解除されます。

■ 番組表を表示する（番組表／裏番組表）

「**番組表／表示**」を押す

現在放送中の裏番組表（現在見ている放送局以外の番組のリスト）が表示されます。

方向ボタン（▲）で番組を選んで「**決定**」を押すと、選んだ番組を視聴できます。

裏番組表の表示中に、もう一度「**番組表／表示**」を押すと、番組表が表示されます。

方向ボタンで番組表内を移動できます。（番組表から番組を選んで見ることはできません。）

番号ボタンの「1」を押すと前日の番組表へ、「2」を押すと翌日の番組表へ切り換わります。

■ 番組情報を見る

番組を見ているときに、「**番組情報**」を押す

現在視聴している番組の情報が表示されます。

もう一度「**番組情報**」を押すと、表示が消えます。

お知らせ

- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。

■ 音声切り換え

音声多重放送番組を見ているとき、音声を切り換えます。

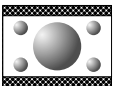
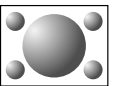
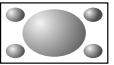
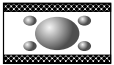
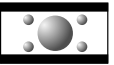
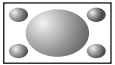
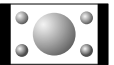
「**音声切換**」を繰り返し押して、聴きたい音声を選ぶ

押すたびに以下のように切り換わります。

主音声→副音声→主:副（→主音声）

■ 字幕切り換え

字幕のある番組を見ているとき、字幕の表示／非表示を切り換えます。

「**字幕切換**」を繰り返し押して、見たい字幕を選ぶ

お知らせ

- 字幕を表示中に一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面にもどると、再び字幕を表示します。

■ 画面サイズを選ぶ

放送中の番組にあわせて、[ワイド]、[4:3レターボックス]、[4:3パンスキャン]から選びます。画面の見えかたについては下の表をご覧ください。

「**画面モード**」を繰り返し押して、画面サイズを選ぶ

放送の種類 / 本機の設定	ワイド放送	4:3放送
ワイド	そのままの縦横比で表示します。	映像が横へ引き伸ばされます。
4:3 レターボックス	映像が横伸びします。	そのままの縦横比で表示します。(上下に黒い帯がはいります。)
4:3 パンスキャン	映像が横伸びしたり、左右が切れたりします。	そのままの縦横比で表示します。(左右に黒い帯がはいります。)

お知らせ

- ワイド放送の種類によっては、左の表のとおりにならないことがあります。お好みにあわせて画面サイズを切り換えてください。

■ 本機の電源を自動的に切る(オフタイマー)

設定した時間で本機の電源を自動的に切ることができます。

「**オフタイマー**」を繰り返し押して、設定したい時間を選ぶ

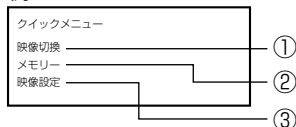
押すたびに、以下のように切り換わります。

0h00m → 0h15m → 0h30m → 1h00m → 1h30m → 2h00m →(0h00m)

設定を解除する場合は、[0h00m]を選びます。

■ テレビ視聴中のクイックメニューの設定

[クイックメニュー]については37 ページをご覧ください。

例

①[映像切換]

複数の映像のある番組をみているとき、映像を切り換えることができます。
「決定」を繰り返し押して、映像を選びます。

②[メニュー]

設定項目のメニューが表示されます。
41 ページをご覧ください。

③[映像設定]

液晶画面の映像を調整できます。
66 ページをご覧ください。

データの自動受信について

デジタル放送の番組表や裏番組表、アップデート用プログラムは、放送電波で送られてきます。これらのデータは、本機の電源をリモコンで切って待機状態(スタンバイ表示が赤点灯)に変えると、自動的に本機が取得を始めます。取得中は、スタンバイ表示灯がオレンジ色に変わります。作業が終わると、赤の点灯に戻ります。**スタンバイ表示灯がオレンジ色に点灯中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。故障の原因になります。**
長時間の使用のくり返しなどによって本機の待機状態が極端に少ないと、データの取得が行なわれず、電子番組表の表示が不完全になることがあります。また、電波や放送局および本機の状態によって、データ取得が完了しない場合もあります。このときは、リモコンで電源を切って本機を待機状態にし、約1時間放置してみてください。

- 本体の「⏻/I 電源」ボタンを押して電源を切っている間は、自動受信は行なわれません。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後などには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- アップデート用プログラムを受信したときは、その内部処理が終わってから番組表・裏番組表の受信を行ないます。

■ ソフトウェアのバージョンアップについて

本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって、機能の改善などができます。

本機では、放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによって、バージョンアップを行ないます。

ダウンロードには、特に操作は必要ありません。本機が電波を検知して、自動的に行ないます。

自動ダウンロードは、本機の電源が「待機状態」(本体のスタンバイ表示灯が赤で点灯)のときにだけ行なわれます。

自動ダウンロードが始まると、スタンバイ表示灯がオレンジ色に変わります。作業が終わると、赤の点灯に戻ります。

ご注意

ダウンロード中(スタンバイ表示灯がオレンジ色で点灯中)は、本機の電源プラグを抜かないでください。

ダウンロード中に電源を抜くと、作業が中止され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。万一動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」(裏表紙)にご連絡ください。

バージョンアップについてくわしくは、以下の当社ホームページをご覧ください。

http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support

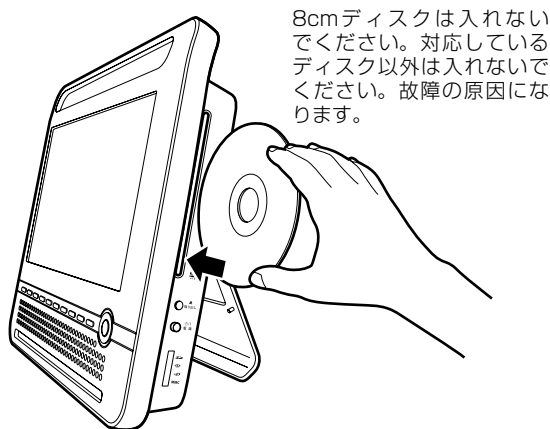
再生

ディスクを再生してみましょう。

- ディスクを入れる
- ヘッドホーンをつなぐ
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 見たいシーンを探す
- 順不同に再生する（ランダム再生）
- くり返し再生する（リピート再生）
- 好きな順番で再生する（メモリー再生）
- 拡大する（ズーム再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 音楽／動画・画像ファイルを再生する
- 液晶画面の映像を調整する
- 広がりのある音にする
- 操作状況や情報を表示させる

ディスクを入れる

再生できるディスクは、19ページでご確認ください。

ディスクをディスクスロットに入れる

8cmディスクは入れないでください。対応しているディスク以外は入れないでください。故障の原因になります。

ディスクスロットにディスクを入れるときは、レーベル面（ディスクにレーベルがある場合）を前にしてください。
ディスクの表面に触れないように持ち、ディスクスロットに向かってまっすぐ挿入します。
ディスクを軽く入れると自動的に引き込まれます。

■ディスクを取り出す

「**取出し**」を押す

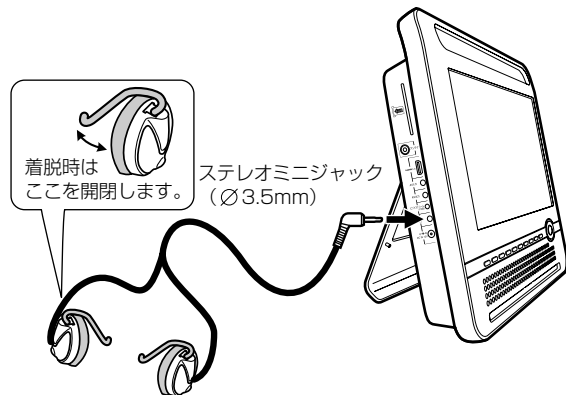
ディスクがディスクスロットから出てきます。

⚠注意

- **ディスクを出し入れしているときに、ディスクスロットに触れないこと**
  けがや故障の原因になります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- **本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。

禁　止

ヘッドホーンをつなぐ

本機には、ステレオミニジャック（∅3.5mm）のヘッドホーンが接続できます。

- 接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったらお好みの音量に調整してください。
- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行なってください。
- ヘッドホーンが接続されているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。

⚠注意

- ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴覚機能に悪い影響を与えることがあります。

ディスクを再生する

DVD-V VCD CD

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を、以下のマークで表わしています。

DVD-V ：DVDビデオディスク　VCD ：ビデオCD　CD ：音楽用CD

■ 準備

- 本機の電源を入れます。
- リモコンの操作切換スイッチを「DVD」にします。
- 「入力切換」を繰り返し押して、［**DVD / CD**］を選びます。

ご注意！

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

1 ディスクスロットにディスクを入れる

再生が始まります。
再生が始まらないときは「**再生／一時停止**」を押します。

- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。DVDビデオディスクのときは「トップメニューを使う」をご覧ください。
- ディスクメニュー画面は、「トップメニュー」や、「メニュー」を押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）
- 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」をご覧ください。

2 再生を止めるには、「**停止**」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「**再生／一時停止**」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生の情報は、ディスク３枚分まで本機に記憶することができます。４枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を２回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ

- PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき（「機能設定」章を参照）にはこの機能は働きません。
- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に、「**再生／一時停止**」を押す

画像が静止し、音声が消えます。

もう一度「再生／一時停止」を押すと普通の再生に戻ります。

スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ボタンを押す

音量バーが画面に表示されます。

∧：音量を上げる
∨：音量を下げる

何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

お願い

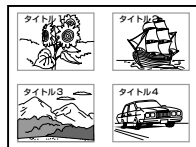
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

トップメニューを使う

DVD-V　VCD　CD

1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

例

2 **方向ボタン**（▲/▼/◀/▶）を押して、再生したいタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついていれば、番号ボタンでも選べます。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

■ スクリーンセーバー（焼付き防止機能）について

画面を焼付きから保護するための機能です（焼付き防止を保証するものではありません）。

ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます（「スクリーン・セーバー」（「機能設定」章を参照）を「オン」に設定しているとき）。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

スクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れ、待機状態になります。

再度お使いのときは、リモコンの電源ボタンを押してください。

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管にはには寿命があります（寿命の目安は、常温で連続使用時間約10.000時間です）。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください（なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします）。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V VCD CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生／一時停止」を押します。

- 本体の「スキップ」を長押しすると、早戻し／早送りの再生になります。

お知らせ
- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

スローモーションで再生する

DVD-V VCD CD

再生中に、「**スロー（◀▮／▮▶）**」を押す

「スロー（◀▮）」ボタンを操作すると、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

押すたびに、速さが切り換わります。

スローモーション再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生／一時停止」を押します。

お知らせ
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

見たいシーンを探す

DVD-V VCD CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して２度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

番号を指定してシーンを探す

1 「T」を数回押して、画面に[サーチ]を表示させる

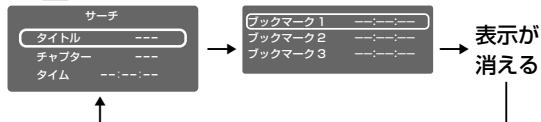
押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

サーチ	
タイトル	---
チャプター	---
タイム	--:--:--

→

ブックマーク１	--:--:--
ブックマーク２	--:--:--
ブックマーク３	--:--:--

→ 表示が消える

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、シーンを探す方法を選ぶ

DVD-V

- **[タイトル]、[チャプター]:**
  タイトル番号、チャプター番号で探したいとき。
- **[タイム]:**
  ディスクの経過時間を指定して探したいとき。

VCD CD

- **[トラック]:**
  トラック番号で探したいとき。
- **[トラックタイム]:**
  トラック内の経過時間を指定して探したいとき。
- **[ディスクタイム]:**
  ディスク内の経過時間を指定して探したいとき。

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- 例：「25」を入力する
  「2」→「5」または「+10」→「+10」→「5」
- 例：１時間25分30秒の経過時間を入力する
  「1」→「2」→「5」→「3」→「0」

再生

4 「**再生／一時停止**」または「**決定**」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

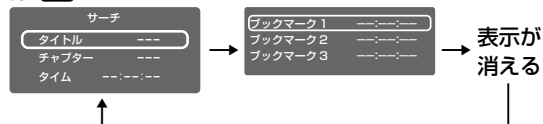
お知らせ
- 番号を設定前に戻す場合は、「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

目印をつけて好きなシーンを再生する(ブックマーク機能)

次の「目印（ブックマーク）をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「T」を数回押して、画面に[ブックマーク]を表示させる

押すたびに、表示が以下のように切り換わります。

例：DVD-V

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、[ブックマーク]の番号(1、2、3)を選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■目印(ブックマーク)をつける

３箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**再生／一時停止**」を押して、再生を一時停止させる

2 「**T**」を数回押して、画面に[ブックマーク]を表示させる

3 **方向ボタン**（▲/▼）を押して、[ブックマーク]の番号（1、2、3）を選ぶ

空いている番号（[−− ： −− ： −−]）を選びます。

取り消すときは、「T」を押して表示を消します。

すでに登録済みの番号は、「クリア」を押すと、設定内容が消えて[−−:−−:−−]の表示に変わります。

4 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。（ブックマークは、電源を切ると消えます。）

お知らせ
- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD-V VCD CD

1 再生中に[クイックメニュー]で[ランダム]を選び、「**決定**」を押す

「決定」を押すたびに、[ランダム オフ]と[ランダム]が切り換わります。

何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

[ランダム]を表示させると、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

[ランダム オフ]が表示されるまで、くり返し「**決定**」を押す

お知らせ
- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 本機の電源を切ったときは、ランダム再生は解除されます。
- 「停止」を２回押すと、ランダム再生を解除して再生を終了します。

くり返し再生する(リピート再生)

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する(A-Bリピート再生)

1 [クイックメニュー]を表示させて、くり返し再生したい範囲の始点(A)で、[A-Bリピート]を選び、「**決定**」を押す

2 くり返し再生したい範囲の終点(B)で、もう一度「**決定**」を押す

自動的にA点に戻り、指定した範囲(AB間)のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには、[リピートオフ]の表示が出るまで「決定」をくり返し押します。

お知らせ
- 「停止」を２回押すと、A-Bリピート再生を解除して再生を終了します。
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-Bリピート」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に[クイックメニュー]で[リピート]を選び、「決定」を押す

「決定」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	全リピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 本機の電源を切ったときは、リピート再生は解除されます。
- 「停止」を2回押すと、リピート再生を解除して再生を終了します。

好きな順番で再生する（メモリー再生）

DVD-V　VCD　CD

1 停止中に［クイックメニュー］で［メモリー］を選び、「決定」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

ビデオCDは、トラック番号の入力になります。

2 再生したい順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1）設定するタイトル番号を**方向ボタン**（▲／▼）で選び、「**決定**」を押す

2）設定するチャプター番号を**方向ボタン**（▲／▼）で選び、「**決定**」を押す
画面右側に設定したメモリー内容が表示されます。

3）他のメモリーを設定する場合、［..］を選び、「**決定**」を押すとタイトル番号の選択画面に戻ります。
1）～2）をくり返してメモリーの設定をしてください。

- ディスクによっては、チャプターやトラック番号が存在しないものもあります。そのときは、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン（▶）を押して、［プログラム再生］を選び、「決定」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■設定内容を取り消すには

- 画面上で［クリア］を選び、「**決定**」を押すと、新しく設定したメモリーから取り消されます。
- 画面上で［オールクリア］を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのメモリー内容が取り消されます。

■メモリー再生を中止するには

「**停止**」を２回押す

（メモリー内容は消去されます。）

お知らせ

- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 本機の電源を切ったときは、メモリー再生は解除されます。
- メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が一時停止します。

拡大する(ズーム再生)

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「ズーム」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例

🔍 x2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

- **倍率：「ズーム」をくり返し押す**

[🔍 X2]（2倍表示）

[🔍 X3]（3倍表示）

[🔍 X4]（4倍表示）

[オフ]（ズーム再生終了）

の4通りで切り換わります。

- **位置：方向ボタン（▲/▼/◀/▶）を押す**

■ 普通の再生に戻すには

再生中に画面に［オフ］が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

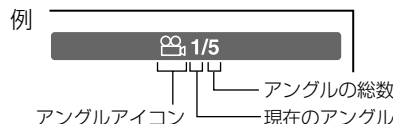
お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 本機の電源を切ったときは、ズーム再生は解除されます。

アングル(場面の角度)を切り換える

DVD-V VCD CD

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、[クイックメニュー]で[アングル]を選び、「**決定**」を押す

画面にアングルアイコン[ ]が表示されます。

タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**決定**」をくり返し押して、アングルを選ぶ

「決定」を押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**字幕切換**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。

2 字幕設定の表示中に、「**字幕切換**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に[オフ]が表示されるまで、「**字幕切換**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V　VCD　CD

1 再生中に、「**音声切換**」を押す

現在の音声設定が表示されます。

2 音声設定の表示中に、「**音声切換**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声切換**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

音楽／動画・画像ファイルを再生する

音楽用CD、音声ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(DivX®)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■MP3/WMAまたはDivX®ファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック、xDピクチャーカード
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート	WMA：48 kbps ～192 kbps（CBR） MP3：32 kbps ～ 320kbps（CBR） DivX：8 Mbps以下
フォーマット	MODE 1
MP3ファイルシステム	ISO9660レベル、UDF without interleave
DivXファイルシステム	ISO14496
ファイル名	8 文字以下で、拡張子「MP3」、「WMA」、「avi」または「divx」が付け加えられていること。 （例「○○○○○○○○.mp3」、 「○○○○○○○○.wma」、 「○○○○○○○○.avi」、 「○○○○○○○○.divx」） “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
WMAコーデック方式版	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)
DivXコーデック方式版	3、4、5、6(再生できるDivX®ファイル(Ver.6含む))通常再生にのみ対応しています。
DivX解像度	720×576（同等もしくはそれ以下）

お知らせ

- 対応または動作確認済みのファイルでも、メディアによっては動作しない場合があります。

■JPEGファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック、xDピクチャーカード
ファイルシステム	ISO9660、UDF without interleave
ファイル名	8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.JPG」） “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
ファイルサイズ	10Mバイト以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG：最大5760×4320 Progressive JPEG：最大5760×4320

MPEG Layer-3 オーディオ・コーディング技術は、フランフォーハーIIS およびトムソンのライセンスによるものです。

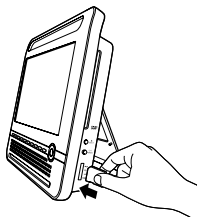
Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DivX、DivX Certified、およびそれらの関連ロゴはDivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス契約に基づく使用許可を受けています。

Covered by one or more of the following U.S. Patents:
7,295,673; 7,460,688; 7,519,274; 7,515,710;

メモリーカードを再生するとき

1 **「入力切換」**を繰り返し押して、[カード] を表示させる

2 再生するメモリーカードをカードスロットに入れる

メモリーカードを取り出すには

カードの中央を押し、ゆっくりとまっすぐ引き出します。

お知らせ

- メモリーカードの読み出し中はメモリーカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

1 再生したいメディアを入れる

メニューが表示されます。

例

2 再生したいトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲／▼）で選び、**「決定」**を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、1画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

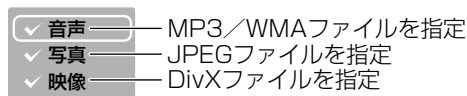
3 再生を止めるには**「停止」**を押す

■ 再生するファイルの種類を選択する

例えば、1枚のディスクの中に数種類のファイルが記録されているとき、以下の手順で再生するファイルの種類を指定します。

1 **方向ボタン**で [フィルター] を選び、**「決定」**を押す

以下の画面が表示されます。

例

✓ **音声** ― MP3／WMAファイルを指定
✓ **写真** ― JPEGファイルを指定
✓ **映像** ― DivXファイルを指定

2 再生するファイルの種類を**方向ボタン**で選び、**「決定」**を押す

選ばれたファイルの種類にはチェックマーク [✓] が入ります。

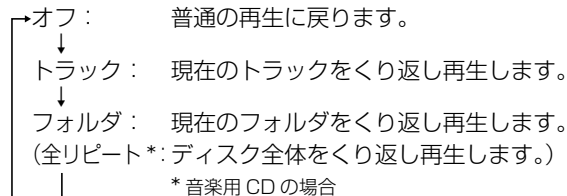
お知らせ

- 市販の音楽用CDのときは、ファイルの指定はできません。

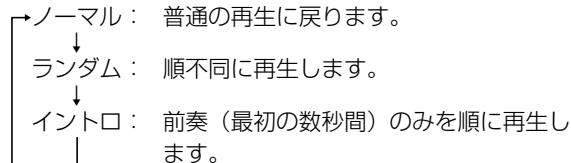
■ リピート再生をする(音楽用CD/MP3/WMA)

再生中に**方向ボタン**で画面の[リピート]を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

オフ：　普通の再生に戻ります。
↓
トラック：　現在のトラックをくり返し再生します。
↓
フォルダ：　現在のフォルダをくり返し再生します。
(全リピート*：ディスク全体をくり返し再生します。)
* 音楽用CDの場合

■ ランダム／イントロ再生をする (音楽用CD/MP3/WMA)

再生中に**方向ボタン**で[タイプ]を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、タイプが切り換わります。

ノーマル：　普通の再生に戻ります。
↓
ランダム：　順不同に再生します。
↓
イントロ：　前奏(最初の数秒間)のみを順に再生します。
* 音楽用CDおよびMP3/WMAファイル再生時のみ

お知らせ
- ディスクによっては再生できないものがあります。
- スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM音声出力端子からのMP3/WMAファイルの音声は、「音声出力」(「機能設定」章を参照)の設定に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。

■ 画像を回転させる(JPEGファイル)

方向ボタン(◀/▶)を押すたびに、画像が回転します。

お知らせ
- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 好きな順番で再生する(プログラム再生)(音楽CD/MP3/WMA)

再生したいトラック／ファイルを並びかえて、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で [編集モード] を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**(◀) でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**(▲/▼) でプログラム再生したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク [✓] が入ります。

4 **方向ボタン**で [プログラム入力] を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが本体に記憶されます。

5 **方向ボタン**で [プログラム表示] を選び、「**決定**」を押す

プログラムされた内容が表示されます。

6 「**決定**」を押す

プログラムした順に再生が始まります。

■ トラック／ファイルを表示する

画面の [ファイル表示] を選び、「**決定**」を押すと、記録されているトラック／ファイルが表示されます。

■ プログラムした内容を取り消すには

1 [編集モード] を選んだ状態で、「**停止**」を2回押して、再生を停止させる

2 **方向ボタン**(◀) でトラック／ファイルが表示されている画面へカーソルを移動させる

3 取り消したいトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだファイルにチェックマーク [✓] が入ります。

4 **方向ボタン**で [クリア] を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが、プログラム一覧から消えます。

お知らせ

- メディアによっては機能しないものがあります。
- 本機の電源を切ると、プログラム再生は解除されます。

液晶画面の映像を調整する

DVD-V VCD CD

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る場合には、外部機器で調整してください。

1 「クイック」を押して[クイックメニュー]を表示させる

例

クイックメニュー
アングル
メモリー
リピート
A－Bリピート
ランダム
音場効果
セットアップ
映像設定

2 方向ボタン(▲/▼)で[映像設定]を選び、「決定」を押す

3 方向ボタン(◀/▶)で[標準]または[メモリー]を選び、「決定」を押す

標準　：お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき(日常、ご家庭で使用するとき)の推奨値です。

メモリー：お好みで調整した設定値で見られます。(調整のしかたは右表をご覧ください。)

4 「クイック」を押して[クイックメニュー]を消す

▲/▼で選択	設定	◀/▶で調整
明るさ	0～100	暗くなる ⇔ 明るくなる
コントラスト	0～100	低くなる ⇔ 高くなる
バックライト	1～10	暗くなる ⇔ 明るくなる
色の濃さ	-50～+50	淡くなる ⇔ 濃くなる
色あい	-50～+50	紫っぽくなる ⇔ 緑っぽくなる
シャープネス	-50～+50	やわらかい映像になる ⇔ くっきりした画像になる
画面サイズ切換	自動	映像にあわせて、16:9または4:3 の画面サイズで表示します。
	16:9	画面いっぱいに映像を表示します。 · 16:9 の映像はそのままの縦横比で表示します。 · 4:3 の映像は横伸びします。
	4:3	4:3 の画面サイズで表示します。 · 4:3 の映像は、左右に黒い帯がつきますが、そのままの縦横比で表示されます。 · 16:9 の映像は、上下に黒い帯がつきますが、そのままの縦横比で表示します。
初期設定に戻す	方向ボタン(▶)を押すと、調整した項目を、お買い上げ時の状態にもどします。	

広がりのある音にする

DVD-V VCD CD

1 [クイックメニュー] で [音場効果] を選び、「**決定**」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「**決定**」をくり返し押す

- [3D オフ]
  通常の音声です。

- [3D オン]
  本機のスピーカー、ヘッドホーン、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

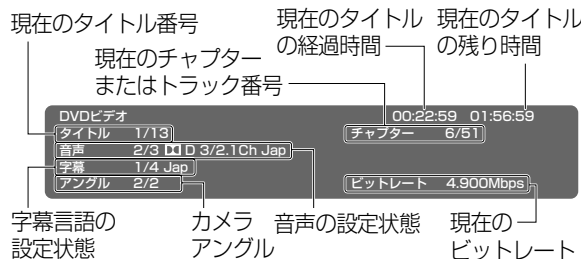
- 実際の音場効果は、音響設備やディスクによって異なります。

操作状況や情報を表示させる

DVD-V VCD

1 再生中に、「**表示**」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVDビデオディスク

画面表示を消すにはもう一度「**表示**」を押します。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 停止中に、[クイックメニュー] で [セットアップ] を選び、「**決定**」を押す

機能設定画面が表示されます。

2 設定項目（下表）のアイコンを、**方向ボタン**（▲/▼）で選び、**方向ボタン**（▶）を押す

3 設定項目を、**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

4 （71 ページ）以降の説明を参照して、項目の内容を、**方向ボタン**（▲/▼）などで設定し、「**決定**」を押す

他の項目を設定するときは、方向ボタン（◀）を押してから、手順2～4をくり返します。

5 [クイックメニュー] で [セットアップ] を選び、「**決定**」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像	TV画面形状	DVD-V VCD	本機の映像をテレビに接続してご覧になるとき、出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	DVD-V VCD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
音声	E.A.M.	DVD-V VCD CD	音場効果を選びます。（E.A.M. = Enhanced Audio Mode）
	D.R.C.	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。（D.R.C. = Dynamic Range Control）
	音声出力	DVD-V VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
レベル設定	パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。
	PBC	VCD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。
	スクリーン・セーバー	DVD-V	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。
出荷時設定	出荷時設定	－	すべての設定をお買いあげ時の状態に戻します。
	DivXレジストレーション	－	DivXに関するお知らせが表示されます。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で画面表示します。
English：
英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で字幕を表示します。
英語：
英語で字幕を表示します。
オフ：
字幕を表示しません。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で音声を再生します。
英語：
英語で音声を再生します。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。
英語：
英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ
- ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

TV画面形状 DVD-V VCD CD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード DVD-V VCD CD

フルサイズ：

画像はカットされず、上下左右を伸ばしてフル画面で表示します。

オリジナル：

ディスクに記録されているもとの画像サイズで表示します。

自動：

自動的に縦横比を合わせて表示します。上下左右に黒い帯ができます。

ワイド：

画像の上下または左右をカットして、フル画面で表示します。

お知らせ

- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

■ 音声

E.A.M. (Enhanced Audio Mode) DVD-V VCD CD

ノーマル：
普通の音声です。
3D：
本機のスピーカー、接続したヘッドホーン、２本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ
• リモコンの「音場効果」を押しても、同じ設定ができます。

D.R.C. (Dynamic Range Control) DVD-V VCD CD

オン：
ダイナミックレンジ機能が働きます。
本機のスピーカー、接続したヘッドホーン、２本のスピーカーに外部出力した場合でもダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：
ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ
• ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
• この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

音声出力 DVD-V VCD CD

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2ch：
AV出力端子で、テレビなどに接続しているとき。

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

パレンタルロック DVD-V VCD CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で[パレンタルロック]を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**を押して、任意の５桁の暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

パスワードが設定されます。

3 **方向ボタン**（▲/▼）で[パレンタルロック]を選び、設定したパスワードを入力し、「**決定**」を押す

4 [パレンタルロック]を選んだまま「**決定**」を押す

5 **方向ボタン**（▲/▼）でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更するか、機能を解除しないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。

アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8 : Adult	7 : NC-17	6 : R
5 : PG-R	4 : PG-13	3 : PG
2 : G	1 : Kid Safe	

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

1 **方向ボタン**(▲/▼)を押して、[パスワード]を選ぶ

2 **番号ボタン**を押して、設定した5桁の暗証番号を入力したあと、「**決定**」を押す

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行ない、規制レベルを変更してください。

■暗証番号を変えるには

1 [パスワード]を選んだあとで、**番号ボタン**「**9**」を5回押し、「**決定**」を押す

暗証番号が解除されます。

2 **番号ボタン**で新しい5桁の暗証番号を入力する

PBC DVD-V VCD CD

オン:
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ:
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V VCD CD

オン:
スクリーン・セーバーが働きます。

オフ:
スクリーン・セーバーは働きません。

■ 出荷時設定

出荷時設定

いいえ:
現在の設定のままで選択を終了します。

はい:
設定を出荷時の状態に戻します。

DivXレジストレーション

DivXに関するお知らせが表示されます。
表示中に「**決定**」を押すと、「出荷時設定」の画面に戻ります。

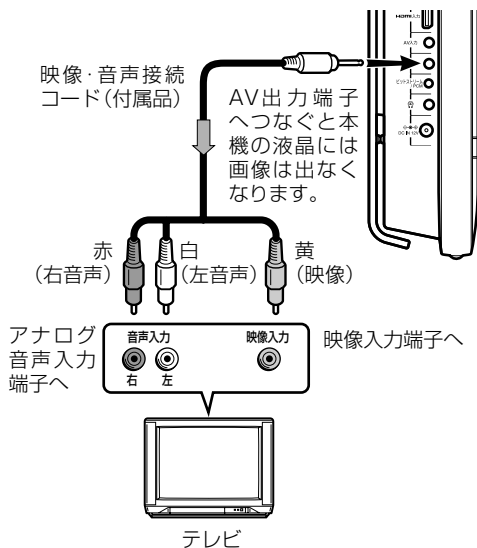
接続

他の機器をつなぐことで、映像や音声がさらに楽しめます。

- **他のテレビの画面で見る**
- **HDMI 端子付き機器とつなぐ**
- **他の機器の映像を本機の液晶画面で見る**
- **オーディオ機器で音声を楽しむ**

他のテレビの画面で見る

本機を他のテレビにつないで、本機の再生画像をテレビの画面で見られます。

1 テレビを本機のAV出力端子につなぐ

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	「音声出力」	「アナログ2ch」	74

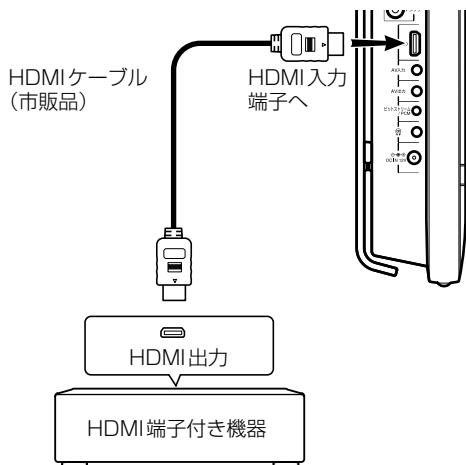
お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。
- ハイビジョン対応テレビにつないでもハイビジョン画質では見ることができません。

HDMI端子付き機器とつなぐ

HDMI端子付き機器の映像を、本機の液晶画面で見ることができます。本機のHDMI入力端子*は480i/480p/1080i/720pに対応しています。

＊HDMI端子とは、テレビと接続機器をデジタル信号でつなぐことができるインターフェース（接続システム）です。

1 HDMI端子付き機器を、本機のHDMI入力端子につなぐ

2 「入力切換」をくり返し押して、本機の液晶画面に［HDMI入力］を表示させる

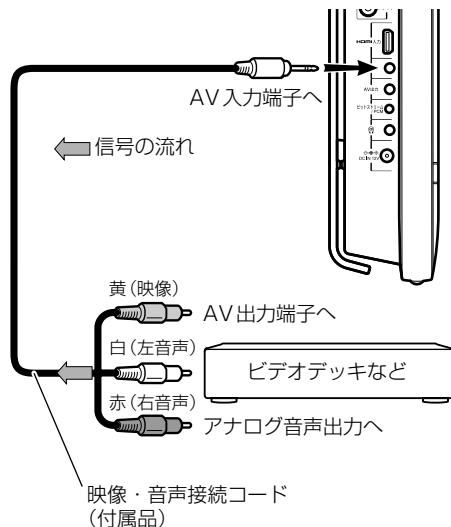
つないだHDMI端子付き機器の映像を液晶画面で表示する状態（HDMI入力モード）になります。

お知らせ

- 本機に接続した機器の取扱説明書もよくお読みください。
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIの技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- 他の機器と接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーやラジオ近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- HD映像信号を送っても、本機ではハイビジョン画質では見ることができません。

他の機器の映像を本機の液晶画面で見る

ビデオデッキ、ビデオレコーダーなどの映像を、本機の液晶画面で見ることができます。

1 映像機器を、本機のAV入力端子につなぐ

2 「入力切換」をくり返し押して、本機の液晶画面に[AV入力]を表示させる

つないだ機器の映像を液晶画面で表示する状態（外部入力モード）になります。

お知らせ

- [AV入力]モードでは、映像の画面形状が変わることがあります。
- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。
- [AV入力]モードでは、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

オーディオ機器で音声を楽しむ

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

接続する機器が、デジタル音声入力対応かアナログ音声入力かで、使う端子が異なります。

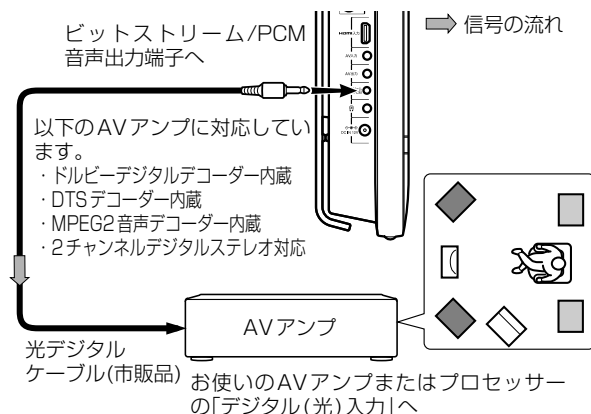
接続する機器の入力が、デジタルかアナログかを確かめて、接続方法を選んでください。

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。

AVアンプ（デジタル音声入力端子つき）とつなぐ

	設定する項目	選ぶ内容	ページ
接続後は、設定をしてください。	「音声出力」	「ビットストリーム」 または 「PCM」	74

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

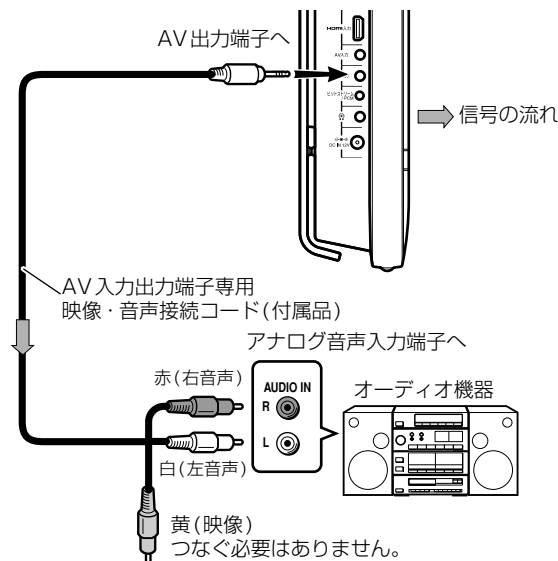
DTSおよびDTS Digital OutはDTS, Inc.の登録商標です。

⚠注意

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、「音声出力」（74ページ）を必ず「PCM」に設定してください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCM音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

お知らせ

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC－3RF入力へ接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で、本機のビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器とつなぐ

接続後は、設定をしてください。	設定する項目	選ぶ内容	ページ
	「音声出力」	「アナログ2ch」	74

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

● 出力される音声の種類

● 故障かな…？と思ったときは

● 仕様

出力される音声の種類

ディスク	音声方式		「音声出力」の設定と出力音声					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/ PCM音声出力端子	スピーカー ヘッドホーン端子 AV出力端子	ビットストリーム/ PCM音声出力端子	スピーカー ヘッドホーン端子 AV出力端子	ビットストリーム/ PCM音声出力端子	スピーカー ヘッドホーン端子 AV出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	×	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*	○	×	○	PCM*	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×
	MPEG1、MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
ビデオCD	MPEG1		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×

PCM*: ダウンサンプリングPCM

- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号（44.1kHzまたは48kHz）になります。
  －音場効果を「3D オン」に設定したとき。
  －著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護されたディスクの場合、信号は16bitになります。

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

	症状	原因	処置
電源	電源がはいらない。	• ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	• ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。
		• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
		• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
	液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
テレビ	放送が受信できない。	• B-CASカードが正しく挿入されていない。	• B-CASカードを正しい向きに入れる。
		• アンテナが正しく接続されていない。	• アンテナを正しく接続する。
		• 初期スキャンをしていない。	• 初期スキャンをする。
		• お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアではない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせ下さい。 以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/
		• 共聴システムを使用していて、共聴システムが地上デジタル放送(パススルー方式)になっていない。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナが必要な場合があります。)
	引越しをしたら、放送が受信できなくなった。	• 引越し後、初期スキャンまたは再スキャンをしていない。	• 県外に引越しをした場合は初期スキャン、県内で引越しをした場合は再スキャンをする。
	一部の放送が受信できない。	• 地上デジタル放送が行われていない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせ下さい。
	受信できなくなった放送局が番組表などから消えない。	—	• 初期スキャンをする。
	映像が二重、三重になる。	• 山やビルなどからの反射電波が原因と考えられます。	• アンテナの位置、高さ、向きを変えてみる。(お買い上げの販売店にご相談ください。)

	症状	原因	処置
テレビ	雪や雨が降ったような画面になる。	• アンテナの向きがずれている、アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続に問題がないか確認する。
	画面にはん点が出る。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。	• アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動する。
	画面にしま模様がでる。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。	• アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離す。
	番組表が表示されない／ところどころ抜けている。	• 番組表データが取得できていない。	• リモコンで電源を切って待機状態にして約1時間放置してください。（待機状態になったと同時に、番組表データの取得を開始します。）ただし、電波や、放送局および本機の状態によっては、データ取得が完了しない場合もあります。このときは、時間帯を変えて再度試してみてください。
	音声が出ない。	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ボタンで調節する。
再生	ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
		• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
		• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。
	再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
		• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
		• ディスクを正しく入れていない。	• ディスクを正しく入れる。
		• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
		• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。
		• 本機の入力の切換を「AV入力」に設定している。	• 入力切換ボタンを押して、本機の液晶画面に画像が出るようにする。

	症状	原因	処置
再生	ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
他の機器との接続	画像が出ない。	• AV出力端子にコードがつながっている。	• 本機の液晶画面で見るときは、AV出力端子からコードを抜く。
	画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
	音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
		• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。
		• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。
	接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。
リモコン	操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源スイッチで電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
	リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。
		• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。
		• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
		• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。
		• 操作切換スイッチがオフになっている。	• スイッチをテレビまたはDVDに切り換える。

仕様

■ 本体部

電源
入力端子DC12V
AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）

消費電力
電源「入」時　33 W　電源「待機」時　0.9 W
機能動作時※1　14 W　電源「切」時　0.4 W

年間消費電力量（標準時）
44 kWh ／年

区分名
BX

達成率
102 %

質量
3.5 kg（バッテリーパック含む）

外形寸法
幅342 ×高さ324 ×奥行62mm（突起部除く）

信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/795nm

音声周波数特性（デジタル音声）
DVDリニア音声：
48kHz サンプリング4Hz～22kHz (JEITA)
96kHz サンプリング4Hz～44kHz (JEITA)

使用条件
温度：5℃～35℃

受信チャンネル
地上デジタル放送 VHF（1～12）、UHF（13～62）
CATV（C13～C63）CATVパススルー対応

■ 本体端子部

アンテナ入力
F型コネクター、75 Ω

映像・音声出力（AV出力）
映像：1.0V(p-p)、75 Ω、同期負、
AV出力小型端子（∅3.5mm）× 1 音声：2Vrms

映像・音声出力（AV入力）
映像：1.0V(p-p)、75 Ω、同期負、
AV入力小型端子（∅3.5mm）× 1 音声：2Vrms、100 Ω

音声出力（ビットストリーム／ PCM音声出力端子）
光コネクター（∅3.5mm）× 1

HDMI入力端子
HDMI™コネクター

ヘッドホーン端子
ステレオミニジャック（∅3.5mm）× 1

■ 液晶画面部

画面サイズ
12V型ワイド
表示方式
IPS方式
駆動方式
アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数
横800×縦480ピクセル（有効画素率99.99%以上）

※1:「機能動作時」は、以下の動作をしている場合の電源「待機」時の消費電力です。
・電子番組表（EPG）のデータ取得中
・ソフトウェアのダウンロード中

本機は地上デジタル放送のみを受信します。
デジタル放送で運用される各種サービスへの本機の対応は、以下のとおりです。

表示画質	標準画質（SD）
ケーブルテレビ方式	パススルー
字幕放送	○
データ放送	×
双方向（データ放送）	×
EPG（電子番組表）	○

■ 付属品

AV入力出力端子専用映像・音声接続コード …1本
同軸ケーブル(75Ω) …1本
ワイヤレスリモコン(MEDR120JX) …1個
単四形乾電池…2個
ACアダプター（EADP-60EB A) …1個
電源コード …1本
バッテリーパック(SD-PBP120J) …1個
ヘッドホーン…1個
B-CASカード…1枚
取扱説明書…1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
- 「JIS C 61000－3－2適合品」－ JIS C 61000－3－2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。